

H28～R6 事業一覧

1、手話に対する理解及び手話の普及を図るための施策

(1)手話に対する理解の促進を図るための施策

市民に、手話は日本語や英語などの音声言語と同じように、豊かな表現や文法を持つ「言語」であることの理解を深めるための施策を実施します。

資料 ③

	H28年度	H29年度	H30年度	H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
かとう情報BOX(ケーブルテレビ)で「伝の助手話 ワンポイントレッスン」を放映 R2～「一緒に手話を覚えよう」	放映回数 月4～5回	放映回数 月4回	設置通訳者不在のため、新規 制作できず、放映できず 来年度は再放送	再放送 毎週放映	R2.6.21～ 「一緒に手話を覚えよう」毎週放 送 新人職員20名出演	R3.5.16～ 「一緒に手話を覚えよう」毎週放 送 新人職員20名 新年:市長・教育長・議長	R4.5.22～ 「一緒に手話を覚えよう」毎週放 送 新人職員14名 新年:市長・副市長・教育長	R5.5.21～ 「一緒に手話を覚えよう」毎週放 送 新人職員16名	R6.5.26～ 「一緒に手話を覚えよう」毎週放 送 新人職員12名
市主催の行事の際に手話通訳をつけた際は、加東 市が手話言語条例を制定していることを紹介する		各課への周知が行き届かず紹 介実績把握できず 成人式・手話フェスタ	高齢者大学開講式 市民人権講座 夏のおどり 福祉まつり講演会 社会福祉課主催の研修会	市主催イベントにて手話通訳 がつく際は紹介した	市主催イベントにて手話通訳 がつく際は紹介した	市主催イベントにて手話通訳 がつく際は紹介した	市主催イベントにて手話通訳 がつく際は紹介した	市主催イベントにて手話通訳 がつく際は紹介した	市主催イベントにて手話通訳 がつく際は紹介した
条例施行記念イベント(かとう手話フェスタ)開催	参加者 360名	参加者 356名	参加者 309名	参加者 423名	新型コロナウイルス感染拡大 防止のため中止	新型コロナウイルス感染拡大 防止のため中止	参加者 322名	参加者 364 名	参加者 340名
「加東市手話言語強化週間」				【新規】 市役所全職員が来庁された全 ての方の対応に、簡単な手話 で挨拶する	11/24～30実施 協力団体 26団体 出張講座 17件	11/24～30実施 協力団体 30団体 出張講座 2件	11/24～30実施 協力団体 36団体 出張講座 2件	11/24～30実施 協力団体 45団体 出張講座 4件	11/24～30実施 協力団体 46団体 出張講座 1件
「広報かとう」に毎月1語ずつ掲載	継続	継続						5月号に掲載	2月号に掲載
加東さくらルーム		40回開催 延べ429名参加	10回開催 延べ94名参加	加東聴協・手話サークルの協力を 得て毎月1回開催(2・3月は中 止) 延べ122名参加	10月31日開催 ろう者3名 聞こえる人8名の参加				
コミュニケーションボード				コミュニケーションボードを市 内コンビニに配布(21店舗)	継続	継続			
伝の助お助けカード				【新規】 「伝の助お助けカード」2,000 枚作成	継続	継続	継続	継続	継続
手話言語の国際デー:ブルーライト 令和4年度より開始							酒瓶協力:39本	協力団体:13団体	協力団体:13団体 スタンブラリー:20人